

「大学発ベンチャーの可能性」 ～大学研究シーズの活用と市場化～

キーノートスピーカー講演

聴診DX～ 医師が起業して AI 医療機関の研究開発や 遠隔医療の社会実装に取り組んできた軌跡～

AMI 株式会社 CEO

小川 晋平氏

熊本大学医学部卒業後、循環器内科医として勤務しながら京都大学起業家育成プログラム上級メンターを務める。平成29年度総務省独創的な人向け特別枠「異能 (Inno)vation」。2015年11月にAMI株式会社(AI医療機器の研究開発と遠隔医療サービスの社会実装を目指す医療系スタートアップ)を設立。東京医科歯科大学 客員准教授、加治木温泉病院循環器内科医師。

主な受賞歴は、厚生労働JHVSベンチャーアワード、九州経産局J-Startup KYUSHU、KDDI∞ラボ最優秀賞、Healthcare venture knot 最優秀賞、メドテックグランプリ最優秀賞、CEJ C-Startup Pitch ICCデザイン & イノベーション アワードのグランプリなど。



パネルディスカッション

大学発ベンチャーの萌芽支援と市場化に向けての取り組み

パネリスト

パネリスト

パネリスト

コーディネーター



株式会社 Dot Homes 代表取締役社長
留田紫雲氏



大阪大学教授・株式会社 LEP 代表取締役
永井健治氏



株式会社三井住友銀行 成長事業
開発部企画開発グループ・部長代理
玉川隆二氏



京都大学産官学連携本部教授
関西ベンチャー学会常任理事
木谷哲夫氏

2025年 3月8日 土 13:00~18:40 12:30~受付開始

関西学院大学大阪梅田キャンパス

大阪市北区茶屋町19-19 アプローズタワー14階



アクセス MAP

・参加料金 会員1000円 非会員2000円 学生無料

・申し込み方法 Peatix より事前申し込み 3月1日(土) 締切



大会スケジュール

研究発表

- 13:00~13:05 **関西ベンチャー学会会長 あいさつ** 定藤（さだとう）繁樹
- 13:05~13:10 **開催校あいさつ**（関西学院大学）
- 13:10~14:10 **基調講演** 1405 教室 キーノートスピーカー
：小川晋平（AMI株式会社CEO）
- 14:10~14:20 **休憩**
- 14:20~16:00 **パネルディスカッション** 1405 教室
テーマ「大学発ベンチャーの萌芽支援と市場化に向けての取組み」
コーディネータ：木谷哲夫理事
パネリスト
：留田紫雲氏（株式会社 Dot Homes 代表取締役社長）
：永井健治氏（大阪大学教授・株式会社 LEP 代表取締役）
：玉川隆二氏（株式会社三井住友銀行成長事業開発部企画開発グループ・部長代理）
- 16:00~16:10 **休憩**
- 16:10~17:40 **研究発表**（3名×3室）
- 17:40~17:50 **教室移動**
- 17:50~18:10 **年次総会**
- 18:10~18:40 **名刺交換会**

第一会場【1405】大阪・関西の創出

座長：深見環（四天王寺大学）

- **大阪府の地域経済循環分析と地方創出**
発表者：福嶋幸太郎（大阪経済大学） コメンテーター：釣島平三郎（太成学院大学）
- **自治体の適疎戦略と商業**
発表者：野長瀬裕二（摂南大学） コメンテーター：林茂樹（大阪工業大学）
- **ふるさと納税と地域の特産品開発 大阪南部の事例から**
発表者：天野了一（四天王寺大学） コメンテーター：岡崎利美（追手門学院大学）

第二会場【1406】ベンチャーと起業家精神

座長：丸山一芳（京都橋大学）

- **ソフトバンクグループの孫正義の事例研究 ~アントレプナーとしての資質と意義についての考察~**
発表者：Jordan Jusli（大阪学院大学） コメンテーター：畑中艶子（国際ファッション専門職大学）
- **親族外事業承継における課題と対応策 —ベンチャー企業S社による「チーム型経営」の事例研究から—**
発表者：松平好人（琉球大学） コメンテーター：浅野禎彦（公認会計士・税理士）
- **ソーシャル・ビジネス・ベンチャーについて—概念と事例の考察—**
発表者：小西一彦（兵庫県立大学） コメンテーター：松村寛一郎（金城大学）

第三会場【1408】地方都市と産業創出

座長：金津 謙（実践女子大学）

- **鉄・ものづくりのまち北九州のお土産「ネジチョコ」の成長要因・戦略に関する一考察**
発表者：貝掛祥広（九州共立大学） コメンテーター：武居奈緒子（摂南大学）
- **官学協業がけん引する鶴岡バイオコミュニティ**
発表者：三森八重子（大阪大学） コメンテーター：木谷哲夫（京都大学）

パネリスト・コーディネーター経歴

★ パネリスト：留田紫雲氏（株式会社 Dot Homes 代表取締役社長）

株式会社サイバーエージェントにてWebメディアの制作・運用に携わった後、米Google から日本で唯一の出資を受けた(出資当時) AIの社会的実装を行う株式会社ABEJAにてWebメディアの制作・運用を経験。その後、不動産デベロッパーにて外国人向け賃貸メディアの事業責任者を経て2015年、Dot Homesを創業。代表取締役社長に就任
(以上、関西学院大学学部生時代)。2016年、株式会社メタップスによるM&A、最年少で子会社社長に就任。2019年、同社からMBO。2020年10月、パーソルイノベーション株式会社と資本業務提携。

★ パネリスト：永井健治氏

(株式会社 LEP 代表取締役社長、大阪大学産業科学研究所教授、北海道大学電子科学研究所教授)

1998年東京大学大学院医学系研究科修了 博士(医学)。JSTさきがけ研究員などを経て2005年より北海道大学電子科学研究所教授、2012年より大阪大学産業科学研究所教授、17年大阪大学栄許教授の称号付与、22年より北海道大学電子科学研究所教授を併任。発光性タンパク質を利用したバイオイメージング技術の開発とその生命科学研究への応用を行っている。主な受賞に日本学術振興会賞、大阪科学賞、山崎貞一賞、中谷賞大賞、島津賞などがある。23年に株式会社LEPを設立し自ら光る植物の事業化に取り組んでいる。
株式会社LEPは、永井健治教授の研究成果である細胞を自発光させる技術の事業化を目指して設立された大学発スタートアップである。「電気を使わない生活の実現」をビジョンに掲げ自発光植物を照明デバイスとして社会実装することを目指している。

★ パネリスト：玉川隆二氏（株式会社三井住友銀行成長事業開発部企画開発グループ・部長代理）

SMBC日興証券、SMBCベンチャーキャピタル、理研イノベーションでスタートアップの設立から IPO までの実務を経験し、現在は現在、KSACへの支援協力の他、大学発スタートアップ支援の企画・推進 を担当。ディープテックからサービス業まで幅広い分野のスタートアップ支援実績あり。

★ コーディネーター：木谷哲夫氏

京都大学産官学連携本部 イノベーション・マネジメント・サイエンス(IMS)起業・教育部長、特定教授。龍谷大学客員教授。テクノロジー商業化の手法、起業家育成方法、エコシステムについての研究、および全学起業家教育プログラムの開発・実施に従事している。複数の大学発ベンチャー企業のアドバイザーも務める。現職以前にはマッキンゼー・アンド・カンパニーにて、自動車・機械・ハイテク・通信業界における戦略立案、新規事業戦略プロジェクトなどを手がける。日本興業銀行およびメリル・リンチ・キャピタルマーケット(NY)にて、プロジェクトファイナンス、M&Aアドバイザー業務など企業金融業務を担当。アリックス・パートナーズのディレクターとしてネットベンチャー企業、エアライン企業のターンアラウンドを担当した後、現職。イノベーションとアントレプレナーシップに関する著述には、「成功はすべてコンセプトから始まる」(ダイヤモンド社、2012)、「ケースで学ぶ 実戦・起業塾」(日本経済新聞出版社、2010)、「独裁力」(ディスカヴァー・エッセンティワン 2014)、「新・君主論」(ディスカヴァー・エッセンティワン 2018)などがある。東京大学法学部卒、シカゴ大学政治学博士前期課程修了(MA)、ペンシルバニア大学MBA。

【主催】 関西ベンチャー学会

【後援】 近畿経済産業局、京都府、京都商工会議所、大阪府、兵庫県、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同行人会、大阪商工会議所、日本政策金融公庫、日本経済新聞社大阪本社、毎日新聞社、日刊工業新聞社、公営社団法人関西ニュービジネス協議会、関西学院大学イノベーション・システム研究センター、関西ベンチャー研究会ネットワーク（神戸・大阪・北摂・京都）、非営利コンソーシアム Japan America Business Initiatives (JABI)、一般社団法人日本テレワーク学会、関西スタートアップアカデミア・コアリション (KSAC)